

令和5年度 ひとつ星・さかど事業所自己評価

実施者		管理者、児童発達支援管理責任者、指導員 計8名 保護者向け事業所評価回収数13 (18配布)			検討会議		2024年2月14日実施
		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	ご家族からの意見等	
環境・体制整備	1	指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○			
	2	職員の配置数は適切か	○				
	3	バリアフリー化されているか			○	段差多い玄関外にライトをつけて安全に出入りできるようにしてほしい。 トイレが狭い、トイレの数が足りない。	
【環境・体制整備】 改善目標、工夫している点など		基準を十分に満たす広さは確保しておりますが、利用者の多い日には窮屈な状況になっています。おもちゃ等活動に必要な備品をしまう棚を整理しなおし、安全に活動できるスペースを見直します。また、遊びの場と学習の場の区切りがないため、目的ごとに環境を整えます。					
業務改善	4	PDCAサイクルに職員が参画しているか		○			
	5	保護者向け評価表の意向を受けて業務改善につなげているか		○			
	6	自己評価を公表しているか	○				
	7	第三者の外部評価を業務改善につなげているか	○				
	8	職員の研修の機会を確保しているか	○			年間の研修の計画があり、どの職員も予定を調整し研修が受けれるようになっている。	
【業務改善】 改善目標、工夫している点など		日々の課題や、自己評価で出された課題については、職員会議等で検討しています。また職員会議は原則、全職員が参加できるようにし、課題や課題解決に向けた取組の内容の情報は共有しております。しかし、課題が解決できるまでの経過の確認や報告が不十分であったことを認めます。今後は課題が解決できるまで、職員会議において経過の確認及び評価を定期的に行うことができるようにします。					
適切な	9	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しているか	○			情報をすべて現場に反映しきれていないところもあるため、会議の進め方等工夫していく。	
	10	標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		チーム支援を行うにあたり、職員一人ひとりの役割を事前に確認する等、十分な打ち合わせを行う。	
	12	プログラムが固定されないように工夫しているか		○		・色々な企画や活動を考えてくれるのでありがたい	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細かに決定しているか	○			職員会議を用いて課題や流れ等を決めているため、引き続き会議にて目標を確認しながら課題や流れ等をしっかり決めていく。	

支 援	14	個別と集団を組み合わせる支援計画を作成しているか		○		
	15	支援開始前に打ち合わせをしているか		○		毎日打合せを必ず実施しているが勤務形態により参加できない職員もいるため、打合せの時間の工夫をしていく。
	16	支援終了後に振り返りを行っているか		○		振り返りは毎日実施しているが、すべての職員で共有できるようにする。
	17	記録を正しく取り、検証・改善につなげているか	○			検証した内容、改善内容を全職員で共有できていないところがあるため、共有の仕方を見直す。
	18	定期的なモニタリングを行っているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせているか	○			
【適切な支援】 改善目標、工夫している点など		<p>プログラム等必要な事項については、職員会議等で子どもたちの様子や希望を共有した上で、予定を決定しています。また、毎日子どもたちがひとつ星へ来る前に職員間でミーティングを行っておりますが、勤務形態によって参加が難しい職員もいます。その職員も含めてきちんと情報共有が図れるように工夫していきます。</p> <p>また、帰りの送迎を行っている関係で、支援後に職員が集まることが難しいため、記録の書式を変更する等、情報共有に努めております。また、支援の振り返りがきちんと行えるよう、会議の在り方も改善していきます。</p>				
関 係 機 関 、 保 護 者 と の 連 携	20	担当者会議にふさわしい者が出席しているか	○			会議前に職員へ情報収集の上で管理者、児童発達支援管理者が参加しています。
	21	学校との年間行事等の情報共有を適切に行っているか	○			今後も引き続き、密に連絡を取り合うようにします。
	22	医療的ケアの必要な子どもの主治医との連絡体制があるか			○	基本的に保護者と連絡をとるようにしています。
	23	就学前に利用していた機関と情報共有をしているか		○		
	24	卒業後の機関に情報提供しているか	○			
	25	専門機関から助言を受けているか		○		
	26	放課後児童クラブや児童館等と交流しているか	○			
	27	自立支援協議会等に参加しているか		○		していない。
	28	保護者と課題等共通理解しているか	○			面談を行う等、保護者と情報を共有している。
29	ペアレント・トレーニング等支援しているか			○	していない	

【関係機関、保護者との連携】 改善目標、工夫している点など		医療的ケアが必要な利用者への対応は資格を持っている職員を配置し、ご家族と連携しながら行っています。医師との常時の連絡体制はありませんが、医療ケアを必要とする児童が通う学校や保護者を介して情報共有をしています。今後も本人の体調を見ながら適切に対応していきます。児童センター等についても、コロナが5類に移行してからは、希望する子ども達と相談しながら利用しています。しかし、コロナ禍前ほどの交流はまだ至っておりません。今後も引き続き、ひとつ星以外のところで、同年代の子ども達と過ごす機会を保障していきます。			
保護者への説明責任	30	運営規程、利用者負担等丁寧に説明しているか	○		
	31	保護者からの相談に適切に助言しているか	○		保護者からの相談があった際は、速やかに職員間で情報を共有し、可能な限り相談に応じている。
	32	父母の会等の活動を支援しているか		○	保護者の活動は今のところはないが、本年度初めて保護者会開催でき、親同士の交流の機会が作れた。保護者間の交流の機会を引き続き続けていく。
	33	苦情体制の整備化、迅速な対応がされているか	○		
	34	定期的に会報等発行し情報を発信しているか	○		
	35	個人情報に注意しているか	○		
	36	子どもや保護者への情報伝達に配慮しているか	○		平日の活動内容、土曜の活動内容も子どもたちにもしっかり説明しているようで助かっている。
	37	地域住民を招待する等、開かれた運営をしているか			○
【保護者への説明責任】 改善目標、工夫している点など		活動を会報として保護者に配布する取り組みを続けています。内容の充実や発行回数の見直し等、随時行っています。ボランティア等外部の方の受け入れは本年度はととも少なく、ボランティアにきていただけのような取組みをしています。地域との関わりについても、ひとつ星の活動への理解を示して下さっている地域の方へのお礼をする等、小さなことから地域の方と関わる機会を作るようにします。			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル等を策定し、周知しているか	○		
	39	避難訓練を行っているか	○		
	40	虐待防止の研修機会があるか	○		
	41	身体拘束を行う際に、適切な手順を踏んでいるか			※事例なし
	42	食物アレルギーの子どもについて医師の指示書に基づいているか		○	その都度ご家族と連絡をとりながら対応していく

43	ヒヤリハット事例集を共有しているか	○			
<p>【非常時等の対応】 改善目標、工夫している点など</p>		<p>緊急時対応マニュアルの策定・避難訓練や会報を用いた周知は行っておりますが、十分に情報が行き届いていない現状がある為、今後も定期的に全職員で確認や報告等、子ども達や保護者に分かりやすい方法で行っていきます。坂戸市の浸水想定区域に指定されている為、水害時を想定した避難確保計画の作成と避難訓練を実施しました。食物アレルギーの利用者はいますが、医師の指導が必要な利用者はいませんが、今後も引き続き、該当する子どもがいた際は、保護者と密に連絡をとりながら対応していきます。</p>			
<p>【その他】</p>					